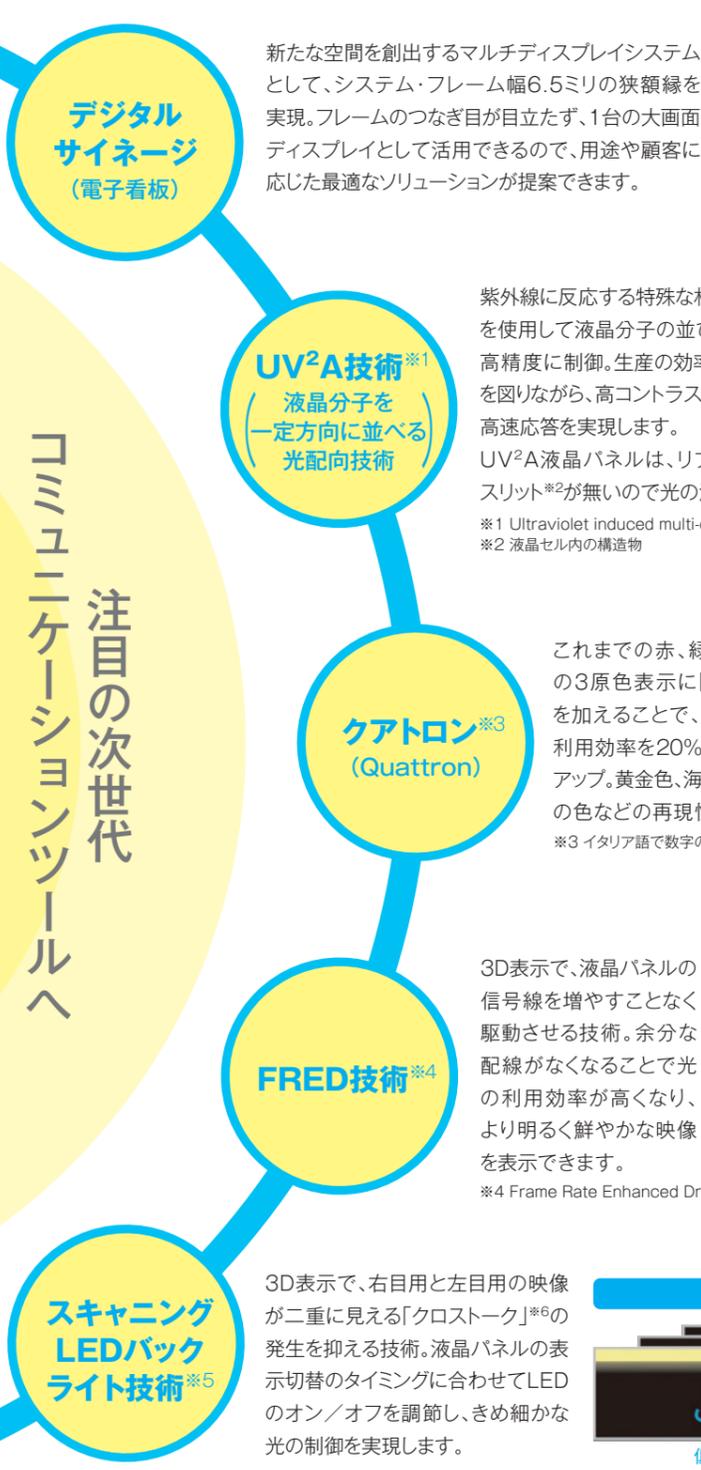


液晶の新たな可能性を創出 驚きと感動を追求し、革新するオンリーワン技術

当社は、1973年に電卓の表示装置として世界で初めて液晶の実用化に成功しました。1987年にはTFT液晶による3型液晶カラーテレビを発売、以後も液晶画面の大型化、高精細化など常に世界をリードしてきました。今後も最新の液晶技術で、新しい感動を提供していきます。



デジタルサイネージ (電子看板)
新たな空間を創出するマルチディスプレイシステムとして、システム・フレーム幅6.5ミリの狭額縁を実現。フレームのつなぎ目が目立たず、1台の大画面ディスプレイとして活用できるので、用途や顧客に応じた最適なソリューションが提案できます。

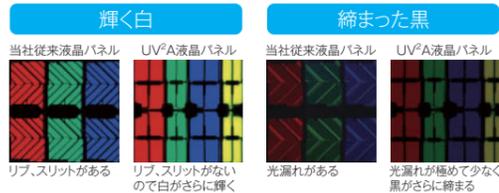


UV²A技術※1
液晶分子を一定方向に並べる光配向技術

紫外線に反応する特殊な材料を使用して液晶分子の並びを高精度に制御。生産の効率化を図りながら、高コントラストと高速応答を実現します。

UV²A液晶パネルは、リブやスリット※2が無いので光の漏れや妨げが発生しません。

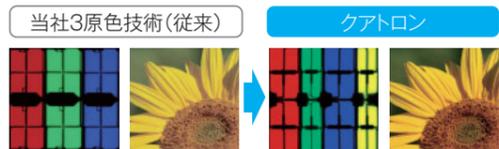
※1 Ultraviolet induced multi-domain Vertical Alignmentの略。
※2 液晶セル内の構造物



クアトロン※3
(Quattron)

これまでの赤、緑、青の3原色表示に「黄」を加えることで、光の利用効率を20%以上アップ。黄金色、海や空の色などの再現性が高まり、従来比約10%の省エネも実現します。

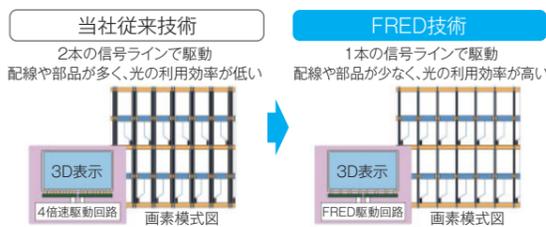
※3 イタリア語で数字の「4」を表す「クアトロ」と、「電子(エレクトロン)」を組み合わせた造語。



FRED技術※4

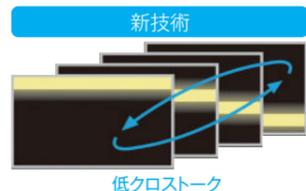
3D表示で、液晶パネルの信号線を増やすことなく駆動させる技術。余分な配線がなくなることで光の利用効率が高くなり、より明るく鮮やかな映像を表示できます。

※4 Frame Rate Enhanced Drivingの略。3Dテレビ向け液晶ディスプレイ用の信号処理技術。



スキャニングLEDバックライト技術※5

3D表示で、右目用と左目用の映像が二重に見える「クロストーク」※6の発生を抑える技術。液晶パネルの表示切替のタイミングに合わせてLEDのオン/オフを調節し、きめ細かな光の制御を実現します。



※5 低クロストークを可能にするバックライト技術。
※6 左右の映像を交互に表示する3D映像が二重に見える現象のこと。

今よりも、もっと楽しく便利に 未来の暮らしを提案する、最先端の液晶製品

街で、オフィスで、ご家庭で。シャープの液晶は、みなさまをとりまく環境のさまざまなシーンで活躍しています。未来の暮らしに新たな楽しみが生まれる、最新技術を搭載した注目製品を紹介します。

インフォメーションディスプレイの概念を塗りかえる [i³wall (アイトリプルウォール)]



マルチディスプレイを構成する複数の液晶ディスプレイのつなぎ目が狭くなったことで、より表現力のある大画面が実現。最大25面(5×5面)に拡大表示できます。108V型液晶ディスプレイや60V型ホワイトボードシステムもラインアップされており、商業施設・公共施設だけでなく、オフィス、医療・教育・研究機関などさまざまな場所に活用いただいています。

4つのオンリーワン技術で美しい3D映像を実現 [AQUOS クアトロン 3D]

「UV²A」「クアトロン」「FRED」「スキャニングLEDバックライト」の4つの革新技術で、圧倒的な高輝度を実現。光利用効率が従来比1.8倍※1になり、明るい3D映像が楽しめます。液晶の高速応答性能とバックライトによるきめ細かな光の制御でクロストークを大幅に低減した、高品位な3D映像に。高コントラストと色再現性にこだわり、くっきり、色あざやかな映像をお楽しみいただけます。

※1 当社従来技術との3D表示時の画面輝度比較において



進化する GALAPAGOS (ガラパゴス) [メディアタブレット]

新聞・雑誌の複雑なレイアウトに対応し、本文だけ拡大できるといった見やすい工夫に加え、動画・音声と融合した新感覚メディアまで楽しめる「次世代XMDF対応ビューア」を搭載。片手で読み進められるトラックボール搭載の5.5型モバイルモデルと、高精細HD液晶で雑誌が見開きで楽しめる10.8型ホームモデルがあります。また、定期的なアップデートにより、購入後も商品・サービスが「進化」いたします。



※写真はイメージです。

業界最高輝度※2で 2D/3Dの表示切替が可能 [タッチパネル付液晶ディスプレイ]

専用メガネなしに裸眼で立体表示が楽しめる、タッチパネル付中小型液晶ディスプレイです。CGシリコン技術*の進化により、液晶パネルの配線幅を微細化することで輝度を向上。視差バリアの最適化により、光の効率を高めています。これにより、左右の映像が重なって見える「クロストーク」を大幅に低減しています。ハイビジョンで3D映像が撮影できるモバイル機器向けカメラモジュールと合わせ、携帯ゲーム機や携帯電話などへの搭載を進めています。

※2 2010年4月2日現在。量産化されているモバイル機器向け3D液晶モジュールにおいて
*CGシリコン:連続粒界結晶シリコン(Continuous Grain Silicon)